

言葉を歌う(ファイルNo.12)

紙などに記された言葉、声に出された言葉。どちらが先に生まれたかといえば、もちろん声に出された言葉でしょう。「書いた物が物を言う」という古い諺があります。口約束は証拠にならないが書類は有力な証拠になる、という意味です。書かれた言葉に重きがおかれたのは昔からのようですが、人間にとって第一義であるのは話し言葉ではないでしょうか。書き言葉を軽視せよというのではありません。それどころか、書き言葉は話し言葉と同じくらい大事にしなればなりません。さて今回は、話し言葉は歌になるという調査報告です。

◎歌ひかたに語を

人が話せば、その声には、音程・長短・強弱があります。声の長短・強弱は分かりやすいと思われまますので、音程について説明します。大阪人に登場してもらいましょう。

橋・端・箸は平仮名で書くことみんな「はし」ですが、大阪人の音声では抑揚(イントネーション)つまり音の高低で三つを区別します。「端」は音程が平板ですが、「橋」と「箸」には抑揚

があります。飽き・秋・空きも同様です。発音で区別できれば、大阪人である証拠。

話し言葉に音程・長短・強弱があることがお分かりいただけたでしょう。とすると、話し言葉は歌に近いものとなります。声の長短や強弱を強調すれば、それは歌でしょう。有名な文部省唱歌『赤とんぼ』は、関東風の話し言葉の音程に忠実に作曲してあります。関西人が「あかとんぼ」と発音すると平板になってしまいますが、関西人もしかし、この歌は関東風の抑揚で歌わなければなりません。母親は幼児に「歌うように話しかけるべき」といいます。美しく話せば、それはすでに歌になっているのです。

◎万葉集を歌う

小倉百人一首を用いた競技かるた会では、読み手は和歌を歌うように詠みあげます。和歌という文字に書かれた文字を連想しがちですが、歌うように詠まれたはずです。『平家物語』は琵琶法師が歌って語るものでした。『万葉集』ですら当時は節をつけて歌っていたのではないのでしょうか。それは大胆すぎる仮説かもしれませんが、大陸から伝わった楽器などもあり

ましたから、十分に考えられます。むしろそのほうが自然ではないでしょうか。

間違いなく歌われていたのは「今様」です。「梁塵秘抄」は平安時代末期の今様と呼ばれる流行歌の歌謡集です。今様とは、今風の流行歌ということですが、楽譜も録音装置もなかったため、文字としてしか残っています。が、当時は節をつけて歌っていたことが分かっています。

遊びをせんとや生まれけむ
戯れせんとや生まれけむ
遊ぶ子供の声きけば
我が身さえこそ動(ゆる)が
るれ

『梁塵秘抄』の今様です。無心に遊ぶ子供の声を聞いて大人の自分さえそわそわする気持ちを歌っています。

文字は残っていても、メロディーは分かりません。昨年のNHK大河ドラマ『平清盛』では、この今様にメロディーをつけ、メインテーマのように使いました。面白い試みでした。

後白河法皇は、遊女たちが口ずさんでいた今様に熱中しました。名のある女芸人を召し寄せてはマスターし、ついには当代一の歌唱力といわれるほどになったといわれます。この今様を後白河が撰歌し、編纂したのが『梁塵秘抄』です。「梁塵」とは、名人の歌で梁に積もった塵も動いたという故事から、優れた歌のこと。

台数限定!
ガスファンヒーター
レンタル受付中!

ガス暖房なら...

- スピード暖房
- 給油の手間なし
- 安全で安心

ガス栓無料取付
実施中!! *1

1シーズン(税込)
3,675円

*1. ただし場所によっては無料で設置できない場合もございます。

健康ライフ
100メモ

風邪対策
「風邪」といふ病気はない

風邪には決定的な治療法がありません。風邪とは、主にウイルス感染による鼻腔や咽頭等の炎症性疾患に掛かった「状態」のことで、病名ではありません。抗生物質はウイルスには効きません。二次的な細菌性の感染症には抗生物質の使用が必須という場合もありますが、原因がウイルスか細菌かの鑑別は困難なものです。抗生物質が効かない細菌「耐性菌」の問題も深刻です。耐性菌の多くは、抗生物質の濫用によって生まれたといえます。高齢者などが感染すると生命にかかわることもあります。

風邪対策は、身体の自然治癒力を高める手助けをすることに つぎるようです。睡眠を十分にとり、身体を温め、栄養を摂る。辛い時は「諸症状を緩和」する だけです。薬も。

★大根サラダ★

〈材料〉大根(細めの短冊切り)、きゅうり(縦半分になり、斜めに薄切り)、シーチキン

- ①塩水に大根を入れしばらく置く(すこししんなりする。シャキシャキ感が残る程度)
- ②大根、きゅうりは水分が出るまで完全に水切りする(水切り器を使うとよい)
- ③大根、きゅうり、シーチキンをボールに入れ、塩、コショウ、マヨネーズ、フレンチドレッシングを加え混ぜる

冬の大根は甘くて美味しい。

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理
〈滋賀県湖南市 富田三世子様〉